

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	キャリアデザイン学研究科 キャリアデザイン学専攻 修士課程《一般》	2026年度 秋季
論述問題		

問1

《解答又は解答例》

論文形式の出題であるが、解答例に相当するものとして評価の観点及びその具体的内容を示す。それぞれの問いについて、質問内容の理解・構成・独自性・根拠の妥当性を多面的に捉えることを目的とする。理解力、論理性、独創性、説得力、総合評価の5つの観点から評価を行う。詳細な評価基準は以下の通りである。

①理解力

キャリア形成を個人の努力や意思だけでなく、組織・家庭・社会変化といった外的要因と自己効力感・価値観といった内的要因との相互作用として捉えられているか。中期キャリア層特有の課題や心理的側面を理解しているか。

②論理性

全体の文章を通して明確な筋道があり、外的変化が個人の心理に影響し、それに対して支援や適応の必要性が導かれているか、構成的なまとまりがあるか。

③独創性

自分なりの着想や現代的な課題点を盛り込んでいるか。例えば、リスクリングやハイブリッド勤務など、中年期のキャリア転換を支える新しい視点を盛り込んでいるか。

④説得力

主張を裏づける理論や具体的事例、社会的文脈が提示されているか。現実的な例や理論的背景が明示され、意見が抽象的でなく経験的・実証的に支えられているか。

⑤総合評価

内的要因と外的要因との関連や課題への支援策、キャリア形成に関する理論の応用が統合的に表現されているか。全体の論旨が一貫し、構成・内容・表現のバランスが取れているか。

《出題の意図》

中期キャリア層のキャリア形成に影響する個人内的要因と偶発的要因とを分析し、その相互関係を論理的に説明する力を測る。自己決定性だけでは説明できない複合的なキャリア形成の理解と、理論的知識の応用力を評価する。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	キャリアデザイン学研究科 キャリアデザイン学専攻 修士課程《一般》	2026年度 秋季
論述問題		

問2

《解答又は解答例》

論文形式の出題であるが、解答例に相当するものとして評価の観点及びその具体的内容を示す。それぞれの問いについて、質問内容の理解・構成・独自性・根拠の妥当性を多面的に捉えることを目的とする。理解力、論理性、独創性、説得力、総合評価の5つの観点から評価を行う。詳細な評価基準は以下の通りである。

①理解力

採用活動の早期化とキャリア形成支援プログラムの接続によって生じる課題を理解し、学生の「主体的キャリア形成」を支える支援の重要性を的確に読み取っているか。大学・企業・行政など関係主体の役割や課題を多面的に把握しているか。

②論理性

問題提起から課題の提示、支援策の提案、効果の示唆までの流れが因果的に明快で、論理的整合性を保っているか。主張と根拠の関係が適切であり、抽象的表現にとどまらず一貫した構成で展開されているか。

③独創性

一般的な早期化批判や支援論に終始せず、理論と現実を結びつける独自の視点があるか。大学の教育的機能やキャリア教育のあり方に踏み込み、学生の発達段階を踏まえた具体的・実践的提案がなされているか。

④説得力

理論的枠組みや実践的知見に基づき、大学・企業の現場に即して現実的に論じられているか。新卒採用や労働市場の状況と整合し、理論と実践の両面から根拠づけられた主張となっているか。

⑤総合評価

理解力・論理性・独創性・説得力を総合的に踏まえ、状況を多面的に捉えて一貫した構成で自らの見解を展開しているか。理論と実践、個人と社会の視点を統合し、現実的かつ建設的な提案を示しているか。

《出題の意図》

企業のキャリア形成支援プログラムと採用活動の接続強化について考察して論じることにより、昨今の課題を踏まえたキャリア形成支援に関する能力・知識を測る。